

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|-----------------|
| 建物名称 | 伊東電機株式会社 丸山工場1期増 | 階数 | 地上3F |
| 建設地 | 加西市朝妻町字丸山1173番4の一部 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 工業専用地域 | 平均居住人員 | 100 人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 1,920 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 事務所,工場, | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2021年4月 予定 | 評価の実施日 | 2020年3月2日 |
| 敷地面積 | 16,561 m ² | 作成者 | 辻井 |
| 建築面積 | 3,210 m ² | 確認日 | 2020年3月3日 |
| 延床面積 | 5,193 m ² | 確認者 | 芦田 |

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.5

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|------------|---|--|
| 総合 | 外壁に耐汚染機能の断熱パネルを用い美観を確保する。 朽化に対応した屋外メンテナンス通路の設置及び将来機器取替時の容易な場所に設置した。 | 設備機器老 |
| その他 | | |
| Q1 室内環境 | 工場系と事務所系を動線上エリア分けを行った。工場内も空調を行い従業員の働きやすい環境を設定した。事務所部分は将来性の拡張が容易なOAフロアの採用、高い天井高を設定した | Q2 サービス性能 |
| LR1 エネルギー | 自動消灯、LED器具の採用。将来的にソーラー発電の設置が可能ないように屋根荷重を考慮している。 | Q3 室外環境(敷地内) |
| | | 既設建物と同一棟の増築工事。周辺に十分空間を取り道路より建物位置の後退をしその間に植栽を行う。東屋外には緑地にし開放的な工場をめざした。又、建物の壁を遮音性の高い仕様にし、かつ窓を最小限にして外部に漏 |
| | | LR3 敷地外環境 |
| | | 光害の抑制のために道路より建物位置の後退する事で緑地を取りグレアを抑える。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される